

歌の履歴書No.2 鶴田浩二さんの巻
歌には自分の夢がある

野球は灰田、歌なら鶴田、というくらい、灰田勝彦さんの野球と、鶴田浩二さんの歌は、ともに定評のあるところ。然し、これはむろん、本職以外の……というタダシ書きがついてのことですが、いつの間にか(失礼!)鶴田さんの歌はすっかり身につけて、立派な本職となってしまいました。

そのヒット・ソングも数多く、彼のファンは、今や戦後最大の数を獲得しているようです。京都で「獄門帳¹」の追込み撮影中の鶴田さんを訪ねて、そのデビュー作から現在までの、歌の数々の思い出を語って頂きました。

例 ①レコード番号 ②作詞者 ③作曲者 ④映画題名 ⑤監督 ⑥相手役
①は管理人が発売年月にしました。

男の夜曲 ①S26.3頃 ②藤田まさと ③船尾勇雄

♪ あかりが濡れて²、雨が降る 淋しい町だよ、この町は
「おやじさん(高田浩吉さんのことを、鶴田さんはこう呼びます)のスイセンでネ、その頃、おやじさんが専属だったポリドールで吹込むことになったんだけど、その時は、おやじさんの先生の、作詞の藤田まさとさんに連れて行かれてサ、もうすっかりあがっちゃったよ、胸がドキドキなんて、なまやさしいものじゃなかったネ、その時は、何が何だか分からなかったよ」

長崎夜曲 ①S26.4頃 ②竹中香 ③田中幸夫

♪ 白いチャペルの花咲く園に 男の影が、ゆれている
「はじめのものに次いでネ、いわゆる夜曲もの三部作³をつくろうというんで吹込んだんだけど、丁度この時、京都でネ「怪塔傳」という時代劇を撮って、サ、メンチョウが出来てネ、苦しい思いをしたのを覚えてるよ、この曲のあと間もなく、ポリドールはつぶれちゃったんだ。」

頬寄せて ①S26.10 ②藤田まさと ③万城目正

♪ 頬寄せて頬寄せて、楽しい今宵 君の瞳も、うるわしく
「ひばりちゃんがコロンビアだった関係で、この頃は映画でもコンビだったし……、というわけで、これはコロンビアで、初めて吹込んだものなんだ」

¹ 「獄門帳」はS30.6.21 封切

² あかりが濡れて→る 追加

³ 「流れの夜曲」この時一緒に「忘れぬ街角」「アベック東京」を吹込む。未レコード化。

花かおる東京 ①②③前に同じ ④「飛び出した若旦那」(松竹大船) ⑤瑞穂春海
⑥角梨枝子、幾野道子

♪ 青い空、輝やく街だよ 君と行く、ひとり行く、
「はじめての映画主題歌だネ、いかにも、明るく楽しい大船映画にふさわしい、軽いメロデーのものだった」

思い出せない事ばかり ①S26.11 ②藤浦洸 ③万城目正

♪ そよ風はそよ風は、 遠い思いに揺れながら、
夢の花影⁴ ①②③前に同じ ④「あの丘越えて」 ⑤瑞穂春海 ⑥美空ひばり

♪ あこがれの花が咲く夜は 嘆きの雨が、降るとい
「ひばりちゃんの人気が出発点じゃないかな、僕と二人で大阪の大劇⁵に出演した時の人気なんてものは、前代未聞だったネ、僕も、エプロン・ステージからファンに引ずり下ろされて⁶ネ、身体中あちこちツネられたのは忘れられない思い出だよ」

若人の誓い ①S26.12 ②佐伯孝夫 ③加藤光男 ④「若人の誓い」(松竹大船)
⑤岩間鶴夫 ⑥津島恵子、高橋貞二

♪ 若い血潮の、純愛は、 男いのちの、バラの花
「これからが、今、僕が専属になっているビクターの部になるわけだ。ポリドールや、コロムビアは、周囲の事情で、その会社から吹込んだというに過ぎなかったんだけど、正確に云えば、まだ、この唄の時は、専属契約は結んでいなくてネ、云うなら契約するかどうかのテスト版とも云えるんだ。好きな唄だネ、レコードも相当に売れたんじゃないかな」

さすらいの舟唄 ①S27.6 ②佐伯孝夫 ③吉田正

♪ 流れ水藻の、淋しく咲いた 月の入江の、となり舟
「専属契約の第一回作品、作詞といふ、作曲といい、流行歌というものゝ、スタンダードな条件を、すべて持っている唄だと云えるんじゃないかな、甘さと夢が、ふんだんにあってサ、唄っていても気持が良かったし、僕の初期の代表作と云えるだろうネ、幸いに売れ行きが良くてサ、契約したということの精神的な負担が無くなり、ホッとしたヨ」

夜霧の港町 ①②③前に同じ

♪ 雨⁷が降る降る、船路は暗く 港はなれて、おもうは港
「さすらいの舟唄のB面なんだけど、人生に裏表のあるように、両方いいってわけにはゆかないやネ、だけど、僕は好きな唄だよ」

⁴ 「夢の花影」「頬寄せて」は美空ひばりとデュエット

⁵ S26.9.21より11日間の大阪劇場の公演「頬寄せて歌はん」大劇創設以来の興業成績を上げる。15万人が入ったそうだ。

⁶ この時、浩ちゃんの洋服が真赤になる。勿論口紅で。

⁷ 雨→霧 の間違い

星空のワルツ ①S27.10 ②坂口淳 ③加藤光男

♪ ビルの谷間の星屑も 泣いているのか、さようなら

追憶(おもいで)の湖 ①②前に同じ ③吉田正

♪ 山の湖、戀しさに ひとりはるばる来たものを

「歌というものはネ、うまく歌うということも、そりゃ大切だろうけれどネ、その歌がネ、云おうとしていること、聞く人に対して、うったえようとしていることをサ、感情でつたえるということも大事じゃないかと思うんだ、僕はネ、別に歌っちゅうものの基本が出来てるわけじゃなしサ、たゞ好きで歌っているんだろう、だから、いくらうまく歌おうと思っても、そりゃア専門の人には敵いっこないよ、けどネ、その歌の気分をネ、聞く人にも、そこはかとなく分って貰えるように、雰囲気をごしらえてゆく、って云うことは出来ると思うんだ。

流行歌が多くの人に愛されるのも、何か、その人達がふだん思っていること、あるいは云いたいと思っていることが唄に歌われているからじゃないかと思うんだ。この唄もネ、自分じゃ分らないんだけど、小西潤て云う、僕がビクターと契約した時から、いろいろ面どう見てくれてる歌手の言葉を借りると、とてもロマンチックな気分を出して歌っていたそうだよ、でも、レコードはそのワリに売れなかった」

彌太郎笠 ①S27.8 ②佐伯孝夫 ③佐々木俊一 ④「彌太郎笠」(新東宝)

⑤マキノ雅弘 ⑥高田浩吉、岸恵子

♪ やの字育ちの彌太郎さんに 誰が着せたか、三度笠

彌太郎旅唄⁸ ①②同じ ③司潤吉 ④⑤⑥同じ

♪ よしな世の中、うらむは愚痴よ 粹に、横っちょに三度笠

「この作品を撮った時だよ、岸君が松竹を飛び出して、これに出演してサ、いろいろと想い出のある歌だなア」

國境の七つ星 ①S27.12 ②坂口淳 ③吉田正

♪ 赤いサラファン、淋しく振って 昨日別れた、あの娘が愛し

戀の紅傘 ①前に同じ ②井田誠一 ③加藤光男

♪ 想いそめたは、祇園の祭り やるせないぞえ やるせないぞえ 木やり唄

「B面の戀の紅傘は、僕の唯一の京都ものなんだけど、京都は、なんと云っても、第二の故郷みたいなもんだろう、それがサ、観光都市のせいで、歌にしても、土地の人の眼じゃなく、よそから見物に来る人の眼で、京都を歌うっていうことに、なんとなくピタリとこないものを感じたネ」

ハワイの夜 ①S27.11 ②佐伯孝夫 ③司潤吉 ④「ハワイの夜」(新生プロ・新東宝)

⑤マキノ雅弘 ⑥岸恵子、三橋達也、水島道太郎

♪ ハー、ハワイ、みどりの夜 月も、宵から波間に燃えて

⁸ 榎本美佐江とデュエット

二人の星は一つ ①②前に同じ ③灰田晴彦 ④⑤⑥同じ

♪ あゝうゝ、星はキラキラと星はキラキラと あまた照らせど、輝やけど、
「初めての海外ロケだし、所はハワイだしネ、張り切ったネ、ロケから帰って来てからも、
撮影の合間をみては舞台から、この歌を随分うたったよ」

さすらいの湖畔 ①S28.5 ②佐伯孝夫 ③古田正

♪ さすらいのさすらいの、乗合馬車の、笛の音は

街のサンドイッチマン ①前に同じ ②宮川哲夫 ③吉田正

♪ ロイド眼鏡に燕尾服 泣いたらツバメが笑うだろ

「B面の街のサンドイッチマンが、何と云っても僕の代表作になっているけど、これは投稿の詞なんだよ。この宮川哲夫という人のものには、現代の感覚が溢れているんだ、それが気に入ってネ、吹込む時も、こっちをA面にした方が良いんじゃないかって云ったんだけど、遂に聞き入れられなかったんだ。それがサ、B面でも凄いヒットになって、自分としては、そら見ろ！ ってなもんだけど、A面で売ってたら、もっともっと出たろうネ。

この歌がヒットしたことの第一の原因は、詞(ことば)に現代があるということだと思うんだ。つまり、たとえば僕だって『ツー・ヤング』だとか『パパ・ラヴス・マンボ』を歌おうと思えば、歌えないことないと思うんだよ、だけど、どうしたってピッタリこないや、自分のふだんの生活と、何の関係もないもの歌ったって、それは節廻しだけのもんで、心にうったえるものがないよ。

宮川さんは、田舎の学校の先生をしていて、この詞を投稿して来たんだけど、だからこそ、都会のノスタルジーといった様なものが、今迄の作詞者には書けなかった程、適切に表現されていたんだネ」⁹

むせび泣き ①S28.9 ②竹中香 ③浅井拳嘩 ④「薔薇と拳銃」(東映) ⑤志村敏夫
⑥島崎雪子、新倉美子、力道山

♪ ほんのはずみで知っただけけれど、唯それだけでは、何か物足りなくて

戀は終りぬ「さようなら」と ①前に同じ ②鶴田浩二 ③司潤吉

♪ 今宵別れのひと時を プラタナス散る、並木道

「A面は、まだプロレスに転向した当時で、売り出しはじめの力道山が出演した暗黒街ものだけど、歌は、シンミリとしたものでネ、評判は良かった方だネ、僕はブルースが自分に一番適していると思っているんだけど、その点でも、この歌は僕むきだと思うよ、でもネ、自分としてはB面を作詞¹⁰、作曲した関係上、この歌がとても可愛くて仕方がないんだ、ネ、分ってくれよ(笑) この詞をサ、二度三度と、じっくり読んでくれれば鶴田浩二という男の、ある一面が分ってくれると思うよ」

街角のブルース ①S29.2 ②宮川哲夫 ③利根一郎

⁹ 鶴田が書き換えて「泣いちゃいけない男だよ」「夢をなくすりゃそれまでよ」になったようだ。

¹⁰ 初稿はS27年秋頃か？

♪ みんな悲しい夢だった 遠い女だよ、忘れよう

しのび泣くギター ①前に同じ ②坂口淳 ③加藤光男

♪ しのび泣く 雨は嘆きのトレモロか

「僕の歌らしい、詞と曲、二、三日のレッスンで軽く歌いましたよ」

さすらいの灯り ①S29.4 ②坂口淳 ③吉田正

♪ いち夜泊りか、さすらい小舟 恋の潮来は水の郷

「珍らしくB面は小西潤さんが“峠の旅役者”を吹込んでいる、僕の片面もの」

裏街ポルカ ①S29.7 ②宮川哲夫 ③吉田正

♪ 涙が出た時やポルカ 頬つぺた濡らしてポルカ

雨滴れシャンソン ①②③前に同じ

♪ 雨滴れ小坊主ポットンポットン 何をつぶやく、寂しい音だよ

「宮川さんと吉田さんのコンビもので、好きな歌の一つ」

やくざ囃子 ①S29.6 ②司潤吉 ③吉田正

♪ 男の意地で行くのだが、義理がからめば、辛くなる

彌太郎くずし ①前に同じ ②竹中香 ③吉田正 ④「やくざ囃子」(新東宝・瀧村プロ)

⑤マキノ雅弘 ⑥岡田茉莉子、河津清三郎

♪ 生れついでの一本人 惚れた相手が、武家育ち

「彌太郎笠に次ぐ彌太郎ものゝ二本目、彌太郎は旅人の夢の人物だし、自分の股旅ものは彌太郎さんと決めて、毎年一本ぐらいいは、こういったものを撮りたいと思っているんだよ」

街角のシャンソン ①S30.1 ②宮川哲夫 ③吉田正

♪ 青い帽子を、横ちょにかぶり 肩をすぼめて、通るのは

愛していたけれど ①②③前に同じ

♪ 愛していたけれど、何も云わないで、左様なら左様ならと別れてきたよ

「何でもそうだけど、ものには好まれるものと、好むもの、求められるものと、求めるものがあるよネ、それがたまたま合致した場合、歌ならヒットになると思うんだ、この歌は、どちらかと云うと、僕の好むもの、そして求めるものに属してるものと云えるネ、今の自分の気持ちにピッタリしているよ」

俺も男さ¹¹ ①S30.2 ②宮川哲夫 ③吉田正 ④「俺も男さ」(新東宝) ⑤山本嘉次郎

⑥安西郷子、筑紫あけみ

♪ 俺も男さ、涙は秘めて 二度と呼ぶまい、昔の夢は

夜霧のシャンソン ①②③④⑤⑥前に同じ

♪ 銀杏の枯葉が舗道に眠る 月もかたむく夜更けの街で

¹¹ 俺も男さ→俺も男だ

「これは映画の主題歌ということになっているけど、実は、映画のタイトルは『泥んこ紳士』というんだ。それが、その時丁度ビクターでこの歌を吹込む事になっていたんで、これを映画に生かしてくれないかというんで、映画の方も「俺も男さ」と改題したんだが、面白いことに、いろいろな事情から、映画の中では歌ってないんだ」

喧嘩安 ①S30.5 ②坂口淳 ③吉田正

♪ 金もいらなきや、名もいらぬ 長屋暮しの浪人サ

晴ればれ道中 ①②③前に同じ

♪ やくざ稼業も、品川の 水に流して晴々と

「これが最新版なんだけどネ、吹込み直しする筈のものを、そのまま出しちゃったんで、チョット気嫌が悪いんですヨ。

この他にもネ、映画の中で歌っているけど、レコードにはならなかったという、「俺も男さ」の逆なものが、二つあるんだよ、松竹のずっと以前のものでネ「青春三銃士」¹²という、藤浦洸さんと、万城目正さんのもの。監督は斎藤寅次郎さんで、岸くんと田端義夫さんが共演していた。

それと、東宝の「男性NO.1」で、これは乾分と一緒に、夜の銀座を歩き乍ら、気分よくシャンソンを歌ってるんだ¹³」

¹² S27.1 封切・「唄くらべ青春三銃士」

¹³ S30.1 封切・歌は「公園の手品師」フランク永井がレコード化